

住まいのかわら版

2014年01月号

<発行>
UDhome
UDホーム株式会社

ホットアルコールを楽しみませんか？

ちょっとほつとなごみたいときや疲れたな、といふとき
ホットアルコールでまつたりしませんか？

みなさま、元気でお過ごしでしょうか？
みなさんに暮らしと住まいを快適にするためのちょっと役立つ情報を届けいたします。今回のテーマは「ホットアルコール」です。

温かいお酒といえば、日本酒の熱燗や焼酎のお湯割りを想像します。でも、最近はカクテルにホット専用が出るなど、人気が高まっていて「ホットアルコール」の幅が広がっています。おいしいのはもちろんですが、体がしつかり温まるので、冷え性の人にもおすすめなのです。そこで、さまざまなホットアルコールをご紹介します。

定番のホットワインをさまざまに楽しむ



ホットアルコールの代表格といえば「ホットワイン」。赤ワインで作るのが主流ですね。

基本的なつくり方は…赤ワインを鍋に入れてふつふつと沸いたところに

ホットアルコールを作ります。

グラニュー糖、生のオレンジを入れてます。沸騰させないようにゆっくりかき混ぜながら少し煮て、コップなどに入れた後シナモンスティックで香りをつけたらできあがり。

でも、もっとお手軽にできるのが、オレンジなどの代わりにマーマレードジャムを入れる方法です。

赤ワインを鍋に入れてジャムが溶けるまでゆっくりまぜればできあがりなので、超ラクチ

また、「白ワインバージョン」もおすすすめ。白ワインにはリンゴジャムを合わせるとすつきりとした甘みに仕上ります。また、すりおろしショウガとはちみつを加えて鍋で温めてもおいしいです。ちなみに、ホットワインには、フルーティーな味わいのワインがおすすめ。ぜひ、お試しあれ。



日本酒やビールもホットにアレンジ！

日本酒をアレンジするならゆず茶（柚子ジャム）がおすすめ。日本酒を鍋で沸騰させないように温めて、ゆず茶を入れて溶かせばできあがり。日本酒独特のアルコール臭もやわらいで飲みやすくなります。ちょっと驚きなのが「ホットビール」。ドイツの寒い冬には定番の飲み

物だそうです。ホットビールには黒タイプがおすすめ。

つくり方は：黒ビールを耐熱グラスに8割程度注ぎ、泡がくずれないよう、小さじ一杯のお砂糖を少しづつ入れる。それを、電子レンジではどよく温め、ゆっくりかき混ぜればできあがりです。ほろ苦い大人の味わいが楽しめます。

バリエーション豊かなホットカクテル

「ホットカンパリ」はカンパリキュールにお湯とはちみつ、レモンの絞り汁をグラスに注いで混ぜるだけ。甘酸っぱくてすつきりとした味わいです。



「ホットミルクラム」は牛乳にラムをちょっぴり入れて、お好みでバニラエッセンスをプラス。お砂糖やはちみつを入れればさらに甘さが増して、幸せな気分になります。

カシスリキューに市販のココアを合わせた「カシスココア」は深い味がクセになりますよ。



頭の体操！間違いさがしへー
上下のイラストで違うところが5箇所あります。
さあ！チャレンジしてみてね！

